

これまで、現ダムと比較できる代替候補案として、部子川（池田町小畑地先）において地質調査を実施してきました。
その結果を報告いたします。

<調査の概要>

- 1次調査（平成12年度）ボーリング10本1,245 m、弾性波探査4.1km
2次調査（平成12年度）ボーリング 5本 640 m
（平成13年度）ボーリング13本1,570 m、調査横坑2坑260 m

<調査結果の概要>

（1）貯水池周辺地質調査

○ダム貯水池周辺において文献調査及び地表地質踏査を実施しました。

その結果、

- ・ダムサイト周辺には第四紀断層（活断層）は存在しないこと。
- ・湛水によって影響のある地すべり地形は認められないこと。

が判明しました。

（2）ダムサイトの絞り込み（1次調査）

○池田町小畑地先（部子川）において、3つのダムサイト候補地を選定し、各サイトのボーリング調査、弾性波探査を実施しました。

その結果、

- ・地形的に優れていること。
- ・地質及び岩盤が最も良好であること。

から、最下流のサイトに絞り、更に詳細な調査を実施しました。

（3）ダム建設の可能性の判断（2次調査）

○下流サイトにおいて、ボーリング調査及び横坑調査を実施しました。

その結果、

- ・ダムの基礎岩盤は堅固であること。
- ・ダム建設に支障となるような断層等の存在は確認できなかったこと。
- ・右岸高標高部に一部弱層部が見受けられるが、一般的な対策を講ずること
で対応が図れること。

等が判明しました。

この結果、これまでの調査で本ダムサイト（部子川：池田町小畑地先）において、重力式コンクリートダムでは130m級までの建設が可能な地質であることがわかりました。